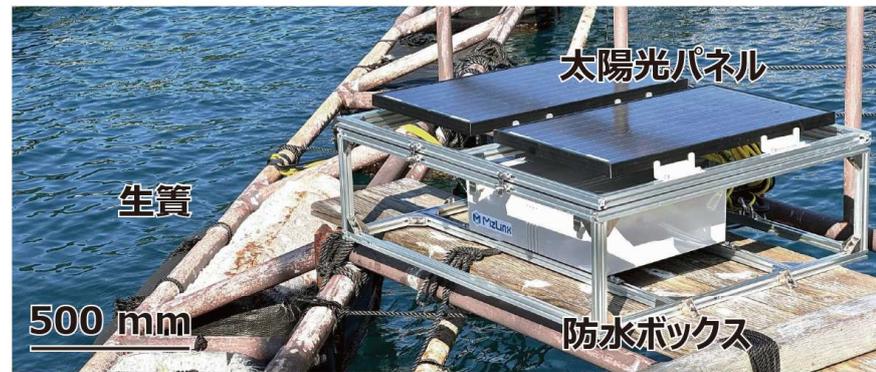
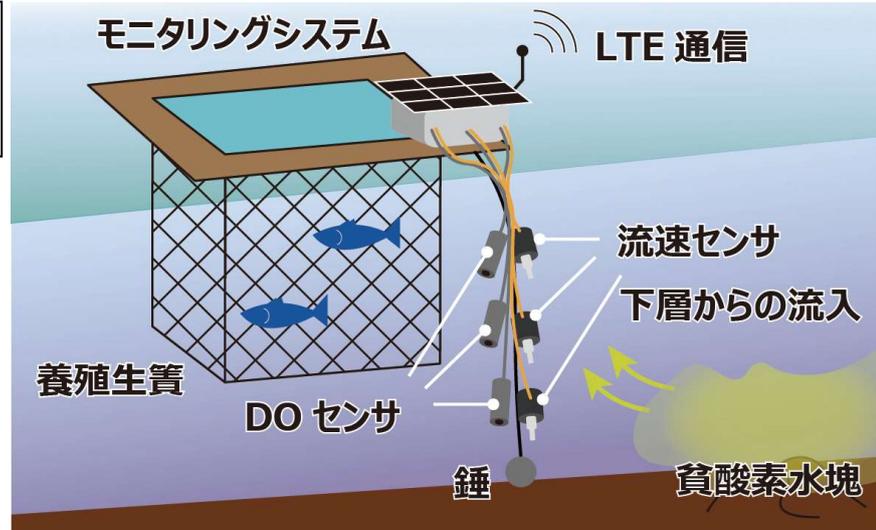


# 内浦湾の環境モニタリングによるマアジのへい死メカニズムの解明

令和4-6年度シーズ創出研究委託事業

慶應義塾大学 高橋英俊  
(株) MizLinx 石川空  
(株) ウィンディーネットワーク 松崎康治



## 1. 背景

近年、内浦地域では養殖マアジのへい死が頻発しており、深刻な問題となっています。しかし、その原因は明らかになっておらず、有効な予防策も確立されていません。

## 2. 方法

本研究では、海流センサ、溶存酸素計、水温センサを備えた遠隔観測システムを生け簀に設置し、海中環境を常時モニタリングすることで原因の特定を試みました。

## 3. 結果

夏季に局所的な貧酸素水塊が海底で発生し、通常は潮流により拡散されるものの、潮流が弱まることで生け簀周辺に滞留し、酸素不足が生じてへい死が発生する可能性が示されました。

## 4. 今後の展望

アラート機能により、貧酸素状態の際に給餌を控えるなどの対応を行うことで、へい死の予防につながると考えられます。

